

	基本目標 I	基本方向 1	基本施策 (2)	NO 5	担当課 生涯学習推進課	質問	実施小学校、講座内容、講師について、教えてください。
回答	実施小学校：青柳小学校、花鶴小学校、千鳥小学校、花見小学校、舞の里小学校 実施内容：インターネットやスマートフォンなどSNSの危険性や、上手なつきあい方について、子どもたちにもわかりやすくスライドを使って説明がありました。 講師：福岡県の「保護者と児童生徒の規範意識育成事業」の講師を務める、特定非営利活動法人子どもとメディアの公式インストラクター4名						
	基本目標 I	基本方向 2	基本施策 (1)	NO 7	担当課 学校教育課	質問	「いのちのノート」の内容の見直しについて、 どのような点（不易の部分、流行の部分）を見直されているのか、詳細を教えてください。
回答	「いのちのノート」について、毎年、平和学習や同和問題学習については見直しを行い、授業で実施しています。LGBTQやワンヘルスなどの近年の人権課題についても、毎年、社会全体での課題意識に応じて見直しを行い、授業に取り入れています。						
	基本目標 I	基本方向 2	基本施策 (2)	NO 8	担当課 青少年育成課	質問	児童館に置かれたジェンダー平等についての本について、具体的にどのような作品か教えてください。 リーフレットの掲示や展示について、いつ、どのようにされていたのか教えてください。
回答	各児童センターでは、定期的に図書館から本をまとめて借りており、その中にジェンダー平等やジェンダーフリーをテーマにした本も取り入れるようにしています。 また、千鳥児童センターでは、施設内にコーナーを設け、ジェンダー平等をテーマにした本や、リーフレットを掲示し、来館者が見つけやすいよう工夫しています。 【具体的な作品名等】じぶんをいきるためのるーる、王さまと王さま、個「性」って何だろう？、みんなちがってみんなステキ、ジェンダーアイデンティティ、等 人権カレンダーポスターの掲示、多様な性を知るガイドブック、等						
	基本目標 I	基本方向 2	基本施策 (2)	NO 8	担当課 子ども家庭センター（保育所）	質問	子どもたちの園での様子を保護者に伝えることがジェンダー平等に関わるのか内容を教えてください。 子どもたちに伝える内容を工夫している。とありますがその内容と工夫していることを教えてください。
回答	保育所では、「人権を大切に作る心を育てる」を基本方針とし、性別に関わりなく一人ひとりの個性を認め合う保育に取り組んでいます。毎月人権テーマを設定して学習を行っており、学習の内容や子どもたちの感想などを記したおたよりを作成して保護者に伝えています。併せて、家庭で子どもと話し合い、感想を出してもらうことにしており、ジェンダー平等も含め、保育所が取り組んでいる人権保育全般について理解を深めていただくよう努めています。 人権学習の時に子どもたちに伝える内容として、命の大切さや、多様性を認めること、感謝の気持ちを持つなどがあります。 工夫している点としては、例えば命の大切さの学習のときには絵本や紙芝居を使い、多様性を認める学習の時にはペープサートを使うなど、わかりやすく伝えるよう努めています。						
	基本目標 I	基本方向 2	基本施策 (3)	NO 10	担当課 生涯学習推進課	質問	パネリストの男女比率等をどのように配慮し、 その成果として、バランスのとれたつどいをどのように実施できたのか教えてください。
回答	パネリスト3名の男女比が偏らないよう、社会教育委員の会議において発表団体や発表者を検討し招聘しております。 参加者についても男女比の偏りがなく、発表者とのディスカッションが行われ、「興味深い内容だった」「自分たちの活動の参考にしようと思った」等の感想がありました。						

	基本目標 I	基本方向 2	基本施策 (3)	NO 11	担当課 人権センター	質問	一行詩の高校生の応募作品数が令和5年度は331件ですが、なぜ令和6年度は0件だったのか、考えられることを教えてください。
回答	令和6年度分について、玄界高等学校、古賀竟成館高等学校、福岡県特別支援学校（高等部）へ募集依頼を行ってまいりました。令和6年度分の応募については0件となっており、「授業カリキュラム変更により応募できなかった」旨、確認いたしました。次年度以降も「ジェンダー平等・男女共同参画社会実現に向けた取組の一つとして『男女共同参画に関する「一行詩」への応募』への対応をお願いしました。						

	基本目標 I	基本方向 2	基本施策 (3)	NO 11	担当課 子ども家庭センター（保育所）	質問	成果として「研修において培った意識を子どもたちに伝えることができた。」とありますが、どのような内容を、どのように伝えたのかを教えてください。
回答	研修の主なものとして、子どもとのかかわり方や子ども同士でのかかわり方の注意点などになります。保育所では、生活の中での活動や遊びのなかで、子ども同士のかかわり方で気になることに気づくことを心がけています。気になる子どもがいたときに伝えている内容としては、相手の気持ちになって考えることなどをわかりやすく伝えるよう努めています。						

	基本目標 II	基本方向 I	基本施策 (1)	NO 12	担当課 人権センター	質問	女性委員不在の審議会がある中で、女性委員の割合が41.5%となっているのは、いずれかの審議会で女性の割合が過半数を超えている会が存在するのでしょうか。また、経年的にみることで、年々目標の50%に近い状況に推移していると評価しても良いのでしょうか。
回答	女性委員の割合が過半数を超えている委員会は17団体存在します（総数：57団体）。経年的に見て目標値に近い状態で推移することは、評価につながると考えます。「女性委員が0の委員会」も存在する状況については注視すると共に、引き続き、古賀市附属機関等の委員の委嘱基準等に関する規程に基づき選考を行います。						

	基本目標 II	基本方向 I	基本施策 (2)	NO 15	担当課 ☆人権センター	質問	「役職者に男女それぞれ30%以上の目標達成の促進」とは、自治組織の役職者割合を60%以上にして、その性別内訳は男女それぞれの30%以上をめざすという意味でしょうか。
回答	ご指摘ありがとうございます。「役職者の女性の割合を30%以上の目標達成の促進」となります。						

	基本目標 II	基本方向 I	基本施策 (3)	NO 17	担当課 人事秘書課	質問	市の男性職員の育児休業取得率について、職場内・職場上司の理解のもと100%取得となり、素晴らしい成果と思ひ詳細を伺います。平均取得期間、取得期間別人数を教えてください。
回答	平均取得期間：32.7日 取得期間：5日間、17日間、24日間、28日間、30日間、92日間						

	基本目標 II	基本方向 I	基本施策 (3)	NO 17	担当課 人事秘書課	質問	男性の育児休業取得率が向上したのは大きな成果と思いますが、課長以上の女性職員の割合が低い水準なのは、性別に関係なく能力や適正、職務経験を重視したという人事異動の方進路矛盾と感じます。担当課の所感を教えてください。
回答	ご指摘の通り、性別に依らず、職員個人の適性や能力に応じた任用を行っていますが、現実としては女性管理職員の割合が大きく増加していない状況です。理由の一つとして、毎年、各職員から自己申告書の提出等により、職員としての今後の意向を伺いますが、職責が重くなること、また、職責が重くなった場合の仕事と家庭の両立に対する不安感が、割合として女性職員に多い傾向があると考えられます。						

基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	講演開催の日程、内容を教えてください。
Ⅱ	2	(1)	19	商工政策課		
回答	<p>令和5年度は以下の日程で講演会を実施しました。 ※男女共同関連含む企同推全体の開催実績を記載</p> <p>【第43回古賀市同和問題を考える市民のつどい】 日程：7月8日、講師：石井 眞澄・千晶氏夫妻、演題：「部落差別と向き合う私たち～結婚差別を乗り越えて～」</p> <p>【全体研修（前期）】 日程：10月25日、講師：福岡出入国在留管理局 渡邊氏ほか、演題：「外国人労働者の人権」、参加者数：25名</p> <p>【いのち輝くまち☆こが2023】 日程：12月5日、講師：大阪市立大学名誉教授 朴 一氏、演題：「外国籍住民の人権について考える」</p> <p>【全体研修（後期）】 日程：2月6日、講師：NPO法人福岡ジェンダー研究所理事兼研究員 倉富 史枝氏、演題：「ワークライフバランス」、参加者数：27名</p>					

基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	ママ講座、パパ講座の内容について、どのような違いがあるのか教えてください。
Ⅱ	3	(1)	27	子ども家庭センター		
回答	<p>ママ講座では、母親同士が自分自身の体験を共有しながら、子育てについて学び合う場となっています。また、製作体験も実施し、母親にとって自分の時間を過ごす機会となっています。一方、パパ講座では、父親と子どもがゲームや体験を通じて親子の時間を過ごすようになっており、父親同士の情報共有の場にもなっています。父親ならではの育児の悩みを参加者で共有しながら、積極的に育児に取り組む父親の姿が見られています。</p>					

基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	まちづくり出前講座の参加人数を教えてください。
Ⅱ	3	(2)	31	人権センター		
回答	<p>7月29日（土） 日吉台区成人学級 20人 12月11日（月） 庄北区自治会 20人 2月10日（土） 古賀北区分館 17人</p>					

基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	企業での研修について、実施企業数や内容など、詳細を教えてください。
Ⅲ	1	(2)	38	商工政策課		
回答	<p>企同推における全体研修の開催実績は Ⅱ-2-(1)-19（回答）を参照願います。</p> <p>全体研修における有識者講演による情報提供に加え、希望者に対して人権問題に関するDVDの無料貸出しを実施し、会員企業における社内研修の開催等による啓発活動を促進しています。令和6年度総会において実施したアンケート調査によると、会員企業14社において社内研修が実施されています。</p>					

基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	相談支援員や家計改善支援員が寄り添った相談対応を行い生活改善を図ることができた。と検証されています。今後もきめ細やかな対応を期待しています。そこで、どのようなケースにどのような相談があり、どのような支援を行い生活改善につながったか一例を紹介してください。
Ⅲ	1	(3)	40	福祉課		
回答	<p>（回答）別紙のとおり</p>					

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	子ども家庭センターが今年度から立ち上がったが、子育て支援課のときに比べ、どんな変化が出てきたか支援施策の成果・課題を教えてください。
	Ⅲ	Ⅰ	(3)	40	子ども家庭センター		
回答	子育て支援課には、母子保健と児童福祉の機能が元々課内にあったため、子ども家庭センターへ移行後も、引き続きスムーズな連携が図れています。相談については「青少年支援センター」と統合されたことで、15歳以上の相談が増加し、相談内容については不登校や進学・就職等の相談が増加しています。青年期の相談が増えたことで、今まで接点の少なかった高等学校や就労の関係機関等と協議する機会が増えており、今後は積極的に連携を図っていきたいと考えています。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	性別を限定せず募集を行ったとありますが、限定している講座があるのか詳細を教えてください。
	Ⅲ	Ⅰ	(4)	41	生涯学習推進課		
回答	他に性別を限定している講座は、「Men's kitchen」のみになります。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	DV相談機能（こが女性ホットライン）への相談件数を教えてください。
	Ⅳ	Ⅰ	(1)	48	子ども家庭センター		
回答	令和5年度の「こが女性ホットライン」の相談件数は188件で、うちDVに関する相談は9件です。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	事務局からみた計画の2年目を終えての進捗状況の評価（順調に進んでいるか）及び課題を教えてください。 また、当計画を達成するためには、市役所内の推進体制が機能することが大事と考えます。 市役所内の推進本部、推進委員会は機能しているものと考えますが、より一層機能することを望みます。
					人権センター		
回答	進捗状況の評価については、計画の成果指標の目標数値に近づいている事、また目標数値に到達している事もあり、順調に進んでいると考えます。 課題について、各課の行う施策に「男女共同参画」「ジェンダー平等」の視点が薄れている状況が感じられる。推進委員会の協力を得つつ、職員に対してもさらに周知啓発を行い、「男女共同参画」「ジェンダー平等」の視点への気づきの場を作っていきたいと考えます。						

	基本目標	基本方向	基本施策	NO	担当課	質問	個別の事業で男女共同参画につながる内容か不明なものがあり、私から見れば担当課は当計画は全庁的に進めており、上司からも指示があり、やむを得ず紐づけ記載をしているように見えなくもない。裏を返せば男女共同参画の視点の欠如からくるものとする。計画を推進する各課においては、ジェンダー平等、男女共同参画を意識した上で事業を実施して欲しい。
					人権センター		
回答	男女共同参画社会の実現、ジェンダー平等社会の実現については、「男女共同参画」「ジェンダー平等」に意識や視点を置くことで、課題が見つかり、具体的な施策につながると考えます。「男女共同参画」「ジェンダー平等」の視点を持つことができるよう、丁寧な啓発を行いたいと考えます。						